

## サービス業部会全体会 特別視察会

6月5日(水)、サービス業部会(部会長・増山雅久氏(株)TOPコンサルティング 代表取締役社長)では、『農業×太陽光発電』ソーラーシェアリングを探る」を、32名の参加者を得て開催した。

貸切バスにて川崎駅前を出発。まず、CHO研究所(千葉県市原市)では、所長 長島彬氏より、ソーラーシェアリングの概要、現状と今後について説明頂いた。農地の上で太陽光発電を行い、売電することで農業者の収入源を確保する。環境に配慮した仕組みで、農作物の発育にも影響を与えず、パネル下では温度も下がり、農家の作業環境も改善する等、様々な利点があると長島氏は語った。

続いて、匝瑳メガソーラーシェアリング第一発電所(千葉県匝瑳市)では、市民エネルギーちば(同)の代表社員 東光弘氏、荒井紀人氏に説明頂き、実際にソーラーシェアリング農地を見学した。日本最大規模となる1MW(メガワット)の太陽光発電所で、売電収入は、出資金の返済・還元のほかに、地権者への賃借料と、農地の耕作委託料となって、地域に還元される仕組みになっている。東代表は、「近年は見学者も多く、更に関心が高まっている。今後若い人々が農業をやりたいと志すようになれば」と語った。

自然と共存できる自然エネルギーとして、今後益々話題となる本システムを特別に視察することができ、大変有意義な視察会となった。

(中小企業振興部)



CHO研究所にて



匝瑳メガソーラーシェアリング第一発電所にて